

安全・良質・優しいこころの医療を、

いつでも どこでも 誰にでも

ぬくもり

地方独立行政法人静岡県立病院機構
静岡県立こころの医療センター



安全・良質・優しいこころの薬物治療

国民の医療ニーズは高度化・多様化しています。また、科学技術の進歩により、医療技術も高度化・専門化し、薬剤師の活動する場も、調剤室のみならず薬剤管理指導、病棟、薬剤師外来等広範囲にわたるようになりました。患者さんの薬物治療における有効性の担保と安全性の確保、特に副作用及び薬害防止における薬剤師の役割は大変大きなものとなってきています。

病院薬剤師は、患者さん等との面談により、十分なコミュニケーションをとり、良好な信頼関係を築き、回復に向けて、また、退院後も通院治療が継続できるためのお手伝いを行っています。

職能を生かした視点から患者さんの状態を把握し、多職種間での情報の交換により共通認識を持ち、治療に当たることがチーム医療となります。医療の質の向上及び医療安全の確保の観点から、チーム医療において薬剤の専門家である薬剤師が積極的に薬物療法に参加することが非常に有益であると考えます。

私たち薬剤師は一人ひとりの患者さんと長期に関わり、安全で適切な薬物治療を提供できるよう日々の研鑽と知識の集積に努めることはもちろん、社会復帰に向けて、常に患者さんの立場に立った服薬支援を行い、患者さんに寄り添う薬剤師でありたいと思っています。



薬剤室長
浅倉 候子



医 療 部 特 集



電気けいれん療法について

「電気けいれん療法」は英語で“Electro Convulsive Therapy”といい、頭文字をとってECTと呼ばれています。“Electro”は「電気の」、”Convulsive”は「けいれんの」、”Therapy”は「治療」です。頭部に電気を流し、人為的にけいれんを起こすことで脳の機能が改善していく治療法で、70年以上の歴史があります。当院では患者さんの不快感と骨折や脱臼の危険を回避するために、専門の麻酔科医師の下、筋肉の弛緩薬を併用した全身麻酔下による「修正型電気けいれん療法（m-ECT）」を実施しています。重症のうつ病、躁うつ病、統合失調症の他、難治性強迫性障害、パーキンソン病、悪性症候群、神経因性疼痛などの疾患にも相応の効果が期待できます。実際の臨床場面では、患者さんそれぞれにあわせた治療を行っていますので、適応判断は患者さんによって異なります。治療の導入には入院も必要となりますので、まずはお気軽に、主治医へご相談ください。

平成25年度 新任医師紹介

今年の4月より、浜松医大からこころの医療センターに赴任しました。おっちょこちょいで、のんびり屋なので、各部署の職員方にご迷惑を多々おかけしています。皆さんに助けられてようやく慣れてきました。これからもどうぞよろしくお願いします。

医療部 黄天寧

4月から当病院で働き始めて半年。病棟の窓からの景色が新緑から紅々と染まり、時の経つ早さを実感しています。精神科医としても駆け出しの身で、日に日に学ぶことが増え追いつかない状況ではありますが、患者さん方やスタッフの方々に助けられながら一步一步進んでいきたいと思っておりますので、宜しくお願いします。

医療部 小出由梨香



医療部心理から

私たちは知能検査や性格検査などの臨床心理・神経心理検査を通じて、みなさまや御家族がよりよく生活できる方法や、本来お持ちになっている自尊心・レジリエンス（回復力）が引き出てくることをころがけたお手伝いをしています。

とは言え、皆さんから語られる思いや言葉こそ真実があることに気づかされることが多く、私たちが日々学ばせていただいています。一例をあげると、皆さんの工夫や対処法を話し合う心理教育などがそうです。

最近ではポジティブ心理学やマインドフルネス、そしてメタ認知なども言われており、こころの動きと物事のとりえ方の“関係”や“あり方”に再び焦点があてられるようになってきたからだと思います。これは世阿弥の残した「難見の見」という言葉にも通じるころがあると感じます。これからも私たちは自分自身を見つめながら、そして皆さんとともに関わっていきたくと考えています。よろしくお願ひします。



看護部より

体験型病院見学会を開催しています

看護体験を盛り込んだ見学会です。

夏休みには、これから精神科実習という方4名が参加してくださいました。

- ・実際の病棟の雰囲気だけでなく患者さんの動きや関わり方がわかった。
- ・一般病棟との違いを知ることができてよかった。
- ・看護師だけでなく患者さんの動きや関わり方がわかった。
- ・一般病棟との違いを知ることができてよかった。
- ・より身近に看護師というものを感じられてとても勉強になった。
- ・想像するだけでなく実際を見ることはいいなと思いました。



など好評を得ました。

今後も体験型病院見学会を開催します。ホームページにも掲載してありますので是非ご覧ください。

新卒の方に限らず、仕事にブランクがあり不安をお持ちの方も見学会で相談できます。

見学だけではわからない、患者さんとの関わり方を体感してみてください。



「精神科救急情報ダイヤル」のご案内★

「精神科救急情報ダイヤル」は、24時間・365日精神科救急に関する情報提供及び相談に対応するダイヤルです。

- ◇精神科医療機関に緊急で受診したいとき、当番病院を案内します。
 - ◇精神科救急時の対応について相談に応じます。
 - ◇静岡県内の精神科医療機関の案内をします。
 - ◇精神科専門スタッフが対応します。
- *かかりつけ病院がある場合は、まずかかりつけ病院に御相談ください。



下記電話番号までご連絡ください。
電話番号 **054-253-9905**

診療のご案内

一般外来

外来受付 午前 8 時30分～午前11時（予約制）
診療日 月曜日から金曜日まで
休診日 土曜日・日曜日・祝祭日・年末年始
診療科 精神科
その他当センターを利用する方々の為の
内科・外科・歯科外来があります。

専門外来

老年期こころと物忘れ外来 <60歳以上の方>
老年期のこころの悩みや物忘れなど、老年期特有のこころの専門外来です。



- ◆一般外来・専門外来とも、全て予約制となっています。予めお電話でご予約下さい。
予約受付日：月曜日～金曜日（祝祭日を除く）
予約受付時間：午前 9 時～午後 4 時
受付先：よろず相談スタッフ
電話：054(271)1166

- ◆現在、他の医療機関に通院されている方は紹介状をお持ちください。

外来担当表

診察室	月	火	水	木	金
第 1		村上直	渡 辺	村上直	小 出
第 2	小 倉	五 條	小 倉	鈴 木	鈴 木
第 3	阿 部	大 橋	阿 部	大 橋	五 條
第 4	救 急	救 急	救 急	救 急	救 急
第 5	新 患	新 患	新 患	新 患	新 患
第 6	梶 塚	梶 塚	村上牧	高 橋	村上牧
第 7	高 橋	黄	仲 田	仲 田	黄

※諸事情により変更する場合があります。

病院周辺図及び交通のご案内



交通のご案内

- バス/美和大谷線 静岡駅より約25分
（静岡駅西口のバス乗り場、徒歩）
- くるま/静岡駅より約15分

地方独立行政法人 静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター

財団法人医療機能評価機構認定病院
〒420-0949 静岡市葵区与一4丁目1-1
電話：054-271-1135（代表）
FAX：054-251-6684
URL：http://www.shizuoka-pho.jp/kokoro/